

第5章 大綱と基本方針

第1節 大綱

史跡甲府城跡の望ましい将来像を以下に示す。

- 甲府城跡の価値を確実に保存し、将来に伝えていくため、史跡を構成する要素について現状把握をした上で日常的な維持管理を適切に行い、必要に応じて計画的な保存修理を実施するなど、厳格な保存管理を行う。
- 甲府城跡の価値をさらに明らかにしていくため、調査研究を計画的・継続的に進める。
- 甲府城跡周辺の歴史的眺望・史跡景観は、史跡の価値を視覚的に捉えるための重要な要素であることから、これを将来に継承していく。
- 甲府城跡の価値を多くの人々に知ってもらうため、調査研究の成果を広く公開し、史跡を学びの場として活かすとともに、甲府城の魅力向上に努め、来訪者が学び楽しめるよう、整備を進める。
- 甲府城跡とその周辺を中心市街地との調和をはかり、多様な交流や賑わいを生み出すよう、城とまちが一体となった魅力的な空間の創出を図る。
- 将来にわたり、史跡の保存・活用を適切に、そして継続的に行っていくため必要な組織・体制を確立する。
- 甲府城跡の保存・活用を推進し、その歴史について正しい理解を促すとともに、地域の城としての意識を高め、甲府城跡の価値を、県民、行政機関、地元関係者、関連団体、観光団体など、多様な関係者が連携し、みんなで守っていくしくみ作りを図る。

第2節 基本方針

1. 保存・管理の基本方針

- (1) 本質的価値を構成する要素である縄張り・石垣・堀などの遺構を保存するため、日常的な維持管理を確実に行うとともに自然環境や史跡景観の保全を図り、甲府城跡の価値を将来にわたり伝えていく。
- (2) 保存に必要な調査研究を計画的・継続的に進めていく。
- (3) 現状変更等の行為については、明確な方針を定め、適切に運用していく。
- (4) 追加指定を目指す範囲については、当該地の確実な保存に向け、指定同意の働きかけを行っていく。

2. 活用の基本方針

- (1) 甲府城跡の本質的価値を、多様な来訪者にわかり易く伝えるため、調査研究を進め、その成果を積極的に公開していく。

- (2) 史跡甲府城跡の本質的価値を幅広く活用し、子供たちや県民にその魅力を伝えるため、学校教育や社会教育と連携させた取組みを推進する。
- (3) 甲府城跡とその城下町を観光資源として活用し、史跡周辺における、地域活性化につながる方法について検討していく。
- (4) 史跡指定地のほとんどは、都市公園として開放されているが、これまで史跡の本質的価値を活かした整備が行われ利活用が図られてきた。今後も引き続き、史跡と都市公園のさらなる共存を目指す中で利活用を進めていく。

3. 整備の基本方針

- (1) これまで行われてきた整備内容について再検討し、甲府城跡の今後の保存と活用に向けた整備事業を計画的に実施していくための整備方針を定める。
- (2) 史跡の本質的価値を保護するため、日常的な維持管理を適切に行い、き損及び危険箇所を事前に把握した上で、必要に応じて計画的な保存修理を実施していく。
- (3) 多様な来訪者に甲府城跡の価値や魅力を理解してもらうため、本質的価値をより顕在化させる整備を実施するとともに、一元的なガイダンス機能に係る施設整備について検討する。
- (4) 城から見る城下町、また城下町から城を望む視点場を確保し、甲府城跡が醸す史跡景観と、その周辺一帯を含めた歴史的眺望の維持・向上を図るための整備について検討する。

4. 運営・体制の基本方針

- (1) 本計画に基づいた史跡の保存・活用のため、必要な運営・体制を整備し維持し、効果的かつ円滑な事業運営を目指す。
- (2) 将来にわたり史跡の保存・活用を適切かつ継続的に行っていくために、官民一体となった協働体制づくりを目指す。